

神田外語大外国語学部、グローバル・リベラルアーツ学部、及び大学院言語科学研究科に入学した皆さん、誠におめでとうございませう。ご家族や関係者の皆様に心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年の冬から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は未だ収束が見えませぬ。COVID-19 と国際社会で呼んでるこの感染症は、パラダイムシフトだと思ひます。従来の方識が全く変わってしまうという意味で、近代日本においての「黒船」と「第二次世界大戦での敗戦」に匹敵する出来事と私は考へております。

海外旅行や留学、国際交流、オリンピックのあり方も変わり、コミュニケーションの仕方も変わるでしょう。昨年は、COVID-19 感染を予防するために卒業式と入学式を中止し、授業の大半を Online で行いました。キャンパスに來られず、せつかく外国語を学んでも留学が制限されたことは誠に残念です。人は、出合い、語り合い、触れ合い、ジャレ合いながら成長する動物だと思ひますが、Social Distance が求められる社会になりました。それでも私たちは、新しい環境に適應し、生きていかねばなりません。働き方や学習の仕方も変わりますが、不自由と嘆くのではなく、変革をする絶好の機会と捉え、従来よりも優れた社会にすることが人類の知恵であると思ひます。

また、別の大きな変化として、科学技術の進化は加速度的に速くなり、Artificial Intelligence(AI)、すなわち人工知能が急速に発達することが挙げられます。例へば、日本政府が提唱する新しい社会の形である Society5.0 では、AI や Internet of Things(IoT) 、ビッグデータ等先端技術の活用により、情報が経済発展のみならず、教育や医療を含む私たちの日常生活の基盤を支える重要な道具となるのです。

これらの情報やテクノロジーを使い、少子高齢化や貧困、地域間格差など様々な課題に取り組み、一人ひとりが快適に生活を送る社会を実現することが、Society5.0 の目的です。

この新たな社会を創造するための取り組みは、すでに始まっています。この点でも、私たちの日常のあり方、社会は、好むと好まざるにかかわらず、変わっていきます。先ほど述べたように、私たちは新たな環境に適應し生きていかねばなりません。

では、著しい変化は、今後、本学の教育環境にどのような影響を及ぼすのでしょうか。例へば、自動翻訳機の性能は日々良くなり、脳科学の成果も取り入れた学習方法が開発されていくでしょう。そのうち、テレパシーのように言葉を発しなくてもお互いに意

思の疎通ができるようになる時代が来るかもしれません。

機械翻訳が高度化するにつれて、語学学習は必要なくなっていくのでしょうか。私たちが言葉を学ぶ意味は何なのでしょう。私は、複雑化する一方の世界で生きていくためにも、急速に変化する社会で人々が共存していくためにも、より正確なコミュニケーションが益々大切になると考えます。

情報技術が高度に進んだ社会では、「脳の外だし」をし、例えば、日常生活における計算を電卓に任せているように、大量の計算は量子コンピュータに任せて、人間は空いた時間を利用し、人間らしく更に深く思考を巡らせ、その先を考えることがより必要になると思います。また、Society5.0 の社会で、共通して求められる能力として「文章や情報を精確に読み解き対話する力」や「価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力」などが謳われています。これらの能力を涵養するには、「考える力」と「コミュニケーション力」が必要不可欠な要素となります。

本学の教育は、開学以来、建学の理念を実現する観点からも、言語力と密接に関係するこれらの力の育成に主眼を置いてきました。

本学の建学の理念は「言葉は世界をつなぐ平和の礎」です。私はその理念を、言葉を使ってモノゴトを考え、知識を積み重ね、他者と意思を通じ合い、他者に共感したり、言葉を使い丁寧に理解し、違いを乗り越えようとするものであると同時に、自分自身を理解することにつながるものと解釈しました。私はそれが気に入り、ビジネスマンから学長に転じたのです。

今日から、皆さんともこの理念を共有します。皆さんは、その意味をどのように考えますか。ぜひ、言葉を介して、友人や家族と意見交換してください。そして、私ともオリエンテーションキャンプなどの機会を通じて議論しましょう。

皆さんの大学生活や卒業後の社会は、入学前に描いていたイメージとは全く違う世界かもしれません。変化する時代や異なる環境に適応していくためには、自分に何が必要かを考え、他者とのコミュニケーションや議論を通じ、解を見つけてください。そのためのサポートは、惜しみなくする所存です。

最後に、建学の理念を声に出したいと思います。
皆さん、ご唱和ください。

言葉は 世界をつなぐ 平和の礎

本日は、ご入学まことにおめでとうございます。